

爽やかな街作り スポーツ振興会

11月6日(土)、打瀬第5公園では秋のグランドゴルフが開かれました。高齢者を中心に30人ほどの人達が晴天のなか、日ごろの鍛錬(?)の成果を発揮し合い、スポーツの秋を楽しんでいました。

コロナ禍の中、室内での文化活動が大きな制限を受けていますが、スポーツ大会などの屋外での活動は屋内活動に比べれば活発に行われています。10、11月にはベイタウンでも、グランドゴルフ、ソフトボールなど多くのサークルが競技大会を行い、親交の輪を拓けていました。

しかし会員数が少ないサークルなどでは競技大会を開くことは大変です。会場を予約し、試合の組み合わせを行い、広報や連絡と、高齢者が中心のクラブなどでは運営のことを考えれば気が重くなるでしょう。ところがベイタウンのスポーツ大会はどれも進行がとてもスムーズ。開催宣言から最後の記念写真の撮影まで手際よく進みます。この大会運営を一手に担うのがベイタウン・スポーツ振興会(会長:内田隆さん)。黒衣(くろこ)に徹して大会開催をサポートする団体です。ベイタウンのスポーツの秋をさわやかに演出する振興会取材して来ました。【松村】

ベイタウン・スポーツ振興会は3丁目公園がスポーツ公園として整備されることを機に発足しました。しかしその名前が多くの人に知られるようになったのは第1回ベイタウン・マラソン大会(2014年)の開催からでした。当時大きな市民参加型のスポーツ大会はベイタウンではまだなく、このマラソン大会には400人を超えるベイタウン住民が参加しました。以来この大会はベイタウンの冬の恒例イベントとなり、現在も続いています(昨年と今年はコロナ禍のため休止)。

スポーツ振興会の目的は特定の競技サークルの運営ではなく、ベイタウン内のすべてのスポーツに関することをサポートすることです。ベイタウンにはもともとテニスクラブや子ども達のサッカーや野球チームなど多くのスポーツ団体があり、団体毎に独立して活動しています。ただ不定期で開催される競技大会や人数が少なくノウハウを持たないサークルや小規模の団体には運営の業務は大きな負担で、まして他団体と共同で行われる競技大会などは負担が重く、大会の運営に時間と労力を取られれば競技に集中できなくなります。

スポーツ振興会が力を発揮するのはこんなときです。スポーツ振興会には多くのサークルが参加し、それぞれのサークルが持つノウハウを共有し合うことで、サークル活動や競技大会の運営をサポートし合っています。例えば毎年春と秋に行われるソフトボール大会には、ソフトボールと同様の会場や運営のノウハウを持つ少年野球チーム、ベイバスターズのコーチの皆さんが毎年運営をサポートし、審判の派遣など表には出ない大切な役割を引き受けています。また毎年行われる夏休みラジオ体操会は、運営のすべてはラジオ体操委員会が行っていますが、ラジオ体操リーダーの活動のための保険費用を負担するなどのサポートを行っています。

他にも振興会が支援するスポーツイベントは多く、「ボッチャ体験会」「健康ウォークの会」「オープン卓球大会」「グランドゴルフ大会」「テニス大会」「小学生ドッチボール大会」など多くの大会のサポートを行っています。

取材していて伝わって来たのは、この振興会はスポーツマンらしく、とても爽やかで利益や名声というものは全く求めない気持ちだけで動いていること。「私たちの活動は黒衣に徹することで、多くのスポーツ大会がスムーズに運営され、ベイタウンのスポーツ活動が盛んになって街の雰囲気がよくなれば、それ以上のことはありません」と副会長の磯田さんは語ります。

スポーツや文化活動などサークル活動の盛んな欧米では、コミュニティの形成にもサークルやクラブが大きな役割を果たしている



2014年12月に始まったベイタウン・マラソン大会。毎年幼児から中高生、シニア世代まで参加するベイタウン冬の恒例イベントだが、運営は打瀬中学校陸上部など多くの学校、市民団体がサポートする。

と言われます。たとえばドイツでは幼児から高齢者まで国民の多くがサッカーの教室から合唱団への参加などの活動を行い、一人で平均5つ以上のサークル活動をするそうで、平日でも家庭に人が居ないということも珍しくないといえます。これらの活動の中には会員としての参加は当然ですが、その他にも例えばオーケストラの運営業務やサッカー大会の審判業務など競技以外の分野での支援を行うボランティア団体が多くあり、サークルやクラブの活動を支援する市民も多くいます。そしてこんな活動がコミュニティの形成に大きな力となっているといえます。

スポーツは単に身体を動かすことで健康につながる、というくらいの認識だった僕には、スポーツを支援することで街をつくっていくという発想はとても新鮮でした。

写真右、毎月行われる3丁目公園テニスコートの清掃と整備にはテニスクラブメンバーをはじめ多くの方が参加します。こんなこともスポーツ振興会はサポートしています。



写真下、春秋のテニス大会。5月の男・女ダブルス大会と11月はミックスダブルスとダブルスを中心に多くの大会が行われています。



写真上、美浜打瀬小アリーナで行われているオープン卓球大会。20~70代まで、30人ほどが毎回集まる。商品は何故か「リンゴ」だそうで大会名も「リンゴ卓球大会」



今回取材した浦住俊平君は 27 歳。打瀬小、打瀬中、幕張総合高校を卒業した根っからの「打瀬っ子」です。大学やその後の就職でベイトウンを離れていましたが、結婚、子育てを機に故郷ベイトウンに戻ってきました。ベイトウンニュースではこれまで打瀬っ子たちの活躍を積極的に取りあげてきました。多くは音楽や美術、スポーツなどの分野での活躍ですが、今回の浦住君はいわば起業家、「農家で捨てられていた切り花を贈り物に」という SDG's にも通じるような新しいビジネスを展開する若者です。こんな若者も出てきたのか。そんな思いでお話を聞きました。【松村】

浦住君が打瀬小に入ったのは 20 年前。お父さんの仕事の都合で名古屋から来て 2 年生で転入しました。運動好きでとても明るい小学生だったようです。運動好きの少年は打瀬中では野球を始めます。当時打瀬中の野球部を率いていたのは現打瀬中校長の屋代先生。若かりし屋代先生手ずからノックを受けたそうです。野球部では主将を務めます。この頃から浦住君はスポーツ好きのスイッチが入ったようです。

新しいことに果敢にチャレンジをする彼は高校ではラグビー、大学ではアメリカンフットボールに熱中しました。そして、大学でも彼は主将に。スポーツ好きの他にも人を魅せ、引っ張っていく能力もあったのでしょう。多くのスポーツで培った経験が彼の財産になります

大学卒業後は普通の学生らしく、ADK という広告代理店に入社します。いよいよ社会人です。営業部に配属された浦住君はスポーツに打ち込んだ情熱を仕事向けます。スポーツで磨いたチームワーク力、持ち前の明るさ、営業職は彼にはぴったりの仕事だったようで、多くの成果を挙げます。次に配属された人事企画部では、新卒

採用を担当し、こちらもオリジナルの採用形式の企画などユニークな経験を積みました。行動力に満ち溢れた彼は、会社外での学びの場を作るべく、新規事業の立案について専門的に学ぶことのできる事業構想大学院へ入学を決意します。

結果的に、この大学院への入学が彼が起業家を目指すきっかけとなり、卒業する時には、(株)インサイドゾーンを設立し、奥さんとお子さんと一緒にベイトウンへ戻ってきます。

そして今は、自分の才覚で事業を企画し、展開させる毎日です。現在は業務委託でいくつかの広告制作業をしながら、生まれたばかりのお子さんと奥さんを養い、明日を夢みる毎日。僕のような古い世代の人間には人生を呪いたくなるような状況ですが、インタビューしたときの浦住君は底抜けに明るく、事業への希望に満ちていました。これが今の世代なののでしょうか。早速、彼の展開する「偶然配達」という農家でどうしても発生する規格外のお花を使ったサブライズブーケの配達サービスで友人に花を贈ってみました。

浦住君が今展開している「偶然配達」と



いう事業は、農家から多く出るロスフラワー（商品にできず出荷されなかった花）を買い取り、指定された相手先にサブライズブーケを届けるというもの。ロスフラワーをなくしたいという想いと、予期せぬタイミングで花が届けられるという嬉しいサプライズを組み合わせた事業です。800 円ほどの金額で花を届けるという気の利いたサービスで、プレゼントとしても利用可能だったので、ベイトウンニュースでも一度使ってみましたが、操作は簡単、スマホからもオーダーできました。

<https://lossflower.buyshop.jp/>

創立から 27 年経った打瀬小と打瀬中学校。新しい教育が求められた時代に出来た学校からの卒業生たちがどんな成果を社会に出て残していくか。きっと我々古い時代の人間が考える尺度では測れないような生き方を見せてくれるでしょう。応援しています。



秋のグランドゴルフ大会

ベイトウンでグランドゴルフを楽しむサークル「グランドゴルフ打瀬」が 11 月 6 日(土)打瀬第 5 公園で秋のグランドゴルフ大会を開きました。このイベントはベイトウン・スポーツ振興会のサポートを受け、毎年 2 回開催されています。

快晴の天候に恵まれ、朝 9 時に会場の打瀬第 5 公園に集まったのは一般参加 13 人、グランドゴルフ会員 16 人の合計 29 人。1 組 3～4 名に分かれて全 8 ホールからのスタートです。通常会員だけの活動日には大体 20 名の 5 ホール程度でのスタートです。大盛況の賑わいでした。

ゴールポストは 50m、30m、25m、15m と 4 種類、最短 15m のポストにはホールインワンを狙えそうですが、これがなかなか入りません。「ナンデー」と声が上がり、爆笑を誘います。

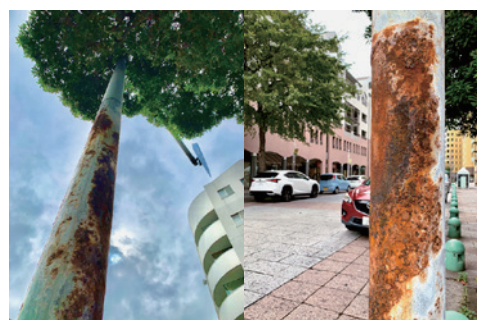


最終 3 ランドを終えたのは 11 時頃。ゲーム成績表の前に、少々お疲れ気味で全員集合して成績発表。スポーツ振興会からの助成で参加賞も含めて沢山の表彰が出来ました。みなさん大満足して帰りました。

新型コロナウイルスが収束し、来春も元気で明るく楽しくグランドゴルフ大会が開催出来ることを切に願っています。(この記事はグランドゴルフ会からの投稿をもとに編集しました)。

プロムナード支柱に鉄さび

読者の方からの投稿写真です。プロムナードの交通標識を支える鉄製の支柱にできた鉄さびです。いつも気付かずに歩いていましたが、街開きから 27 年の間にここまで腐食が進んだのでしょうか。ベイトウンは風が強い街です。潮風でサビが早く発生するのだと思いますが、強風は街路樹を倒す強さもあります。事故の危険性もありますが、街の顔のプロムナードに鉄さびの支柱ではなんとも情けない。



かかりつけの歯医者さん

「家族で通える海浜幕張のかかりつけ歯科医院」、幕張ベイパーク歯科・矯正歯科・小児歯科は、そんなコンセプトで、幕張ベイパークメディカルセンターの2階に開業しました。

同じ地区のベイトOWNには既に6つの歯科医院がありますが、新しく参入する幕張ベイパークの歯科医院には、どんな特徴があるのか取材しました。【金】

●院内を紹介してください。

明るく広々とした院内で、3つの部屋と5台の治療台で診療が行われています。シアター付きのキッズスペースと、ベビーカーのままで入ることができる個室など、お子様と一緒に安心して治療を受けられるよう配慮しています。

診療台に座ると、若葉3丁目公園の芝生の上で走り回る子どもたちの姿が見え、街の様子を楽しむこともできます。診療スペースを設計する際は、このような点にも細かく気配りました。

●診療を担当するのはどんな医師ですか？

院長の望月正太、副院長の澤眞由、矯正歯科医の石川宗理が担当します。

3人とも東京歯科大学の出身で、複数の医療機関で経験を積んできました。

●「かかりつけの歯科医院」として目指している姿は？

治療だけが目的ではなく、予防やメンテナンスにも活用できる歯科医院を目指しています。健康的な食生活を楽しむことができるように、痛みを感じてから来院するの

ではなく、予防も兼ね、事前に相談し、自分の状態を確認して欲しいですね。

●「できるだけ痛くない治療」とは？

できるかぎり痛みがなく安心して治療を受けられるように、麻酔薬を塗る表面麻酔を活用しています。無痛治療ではありませんが、麻酔注射をする時の痛みを感じないようにし、痛みに対する不安を取り除くことで歯科診療への不安感の軽減に役立てています。

●その他の特徴は？

丁寧なカウンセリングのため、歯科用CTや口腔内スキャナーを導入し、わかりやすい治療を心掛けています。治療計画を明確にし、納得して頂いたうえで治療を開始します。

また、担当衛生士制を採用しております。継続して担当することで、症状の変化や状況を理解しやすくなり、細かいアドバイスをすることが可能になります。来院毎に説明や相談をする必要がなくなり、スムーズに治療を受けて頂くことも可能です。

謎のソフトボールチーム「ブエナリージ」とは？

先月号で第29回ソフトボール大会（秋季）の結果について紹介しましたが、今回はその準優勝チームのブエナリージ取材しました。結成して10年以上。優勝経験がある強豪チームはどのように息の長い活動ができたのでしょうか。キャプテンの六角さんにお話を聞きました。

【小原】

ブエナリージというおしゃれな名は、ブエナテラーサの入居時の理事会メンバーで立ち上げられたことから。親睦を目的とした総勢約20人のチームです。結成13年を超えました。創設時は3・40代だったメンバーも平均年齢は50代に上がりました。働き盛りのメンバーですから転勤や仕事の都合で休みや入れ替わりがあります。最近は息子たちやその友達、新しい住民も参入し、春・秋の大会になると10人前後の選手が集まり、出場し続けています。なんと優勝3回。今回の大会も決勝まで進みましたが、相手は少年野球で鍛えられた若者チーム、その前の試合で負傷2人というアクシデントもあり、健闘の末、僅差で敗北を喫したのです。

現在のキャプテンは六角さん。ブエナテラーサの最初の理事長で、ブエナリージ結成メンバーでもあります。キャプテンとしては、道具の管理や打ち合わせ兼飲み会の幹事が主な仕事です。この役目は通常持ち回りなのですが、もう一期キャプテンを続投して次回優勝を目指すそうですから、気合いが入っています。

活動のリズムは春・秋の大会に合わせて決まります。試合が近くなると土日の朝練

が始まり、緊張感が高まるそうです。週日の勤めと並行して、運動を継続していくことはなかなか難しいと思うのですが、どうやら選手の皆さんにはソフトボールの大会が身体作りのいい動機付けになっているのかもしれない。

スポーツの良さは、身体的な事だけに限りません。もともと新しい街区の誕生に当たり、コミュニティを大切にしたいという目的で結成されたチームです。ブエナテラーサの理事会とチームの協力体制ができていて、街区のお祭りやイベント運営に積極的に参加しています。街区内で密な近所づきあいが生れ、住民どうしの挨拶も当たり前のようにできる、アットホームな雰囲気が出てくると六角さんは語ります。それって「居心地がいい」ってことですね。

話を聞いていると、「お互いに楽しみながら関わっていく喜び」が、皆さんの活動の根底にあると感じました。練習すれば勝てるしそれは嬉しいこと。ユニフォームをカッコよくしよう。優勝したらユニフォームに☆印を足していこう。そういう、物事を面白く、楽しくしていくことで、皆さんを自然に結びつけてきたのでは、と思います。

取材後記

千葉市の歯科医院数は545。人口10万人あたりの施設数は56.08と全国平均である53.53を少し上回っています。一方、美浜区について見ると、歯科医院数76、人口10万人あたりは51.10と全国平均を下回ります。

そして、歯科医院全体では現在、健康保険制度下での歯科医療、つまり診療報酬点数の範囲で十分にできる治療が少ない、先端診療に対する保険適用が遅い、歯科医師、歯科衛生士の数が少ないという構造的な問題を抱えています。

今回の「幕張ベイパーク歯科・矯正歯科・小児歯科」の開業は、歯科医院不足を補うという点と同時に、土曜はもちろんのこと、日曜の午前中も診療しているので通いやすい患者フレンドリーな診療体制という点でも歓迎できます。



〒261-0014 千葉市美浜区若葉 3-1-38
幕張ベイパークメディカルセンター 201
TEL: 043-205-4183

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
09:30 - 13:00	●	●	-	●	●	▲	●
14:30 - 18:30	●	●	-	●	●	▲	-
休診日：水曜、祝日	▲	...	9:30 - 12:30 / 14:00 - 17:00				
電話予約・お問い合わせ	TEL.043-205-4183						

最後に、六角さんから「ブエナテラーサの住民の方で参加したい人は、是非声をかけて下さい。また、大会に参加するチームが以前より減っているの、また復活して一緒に楽しみましょう」とメッセージをいただきました。春季大会（4月予定）までは約半年なので十分間に合います。次回は第30回。どんどん盛り上げて、ベイトOWNライフを楽しみましょう。



ソフトボール大会メンバー（写真上）とユニフォーム（写真右）。このデザインもオシャレ





つどいまなびつなぐ

ベイタウン・コア / 公民館通信

●今後の主催（共催）講座

大人の折り紙教室～来年の干支 寅を折る～

日時：12月15日（水）13：30～15：30

場所：打瀬公民館工芸室

対象：折り紙経験者（折図を見て折れる方）抽選8名

参加費：教材費880円（A・B2セット分）

※どちらか一方でも可（440円）

講師：打瀬公民館職員 藤谷多恵子

※受付 12月1日（水）～12月7日（火）



Aセット



Bセット

シニア向けスマートフォン教室

日時：1月19日（水）14：00～16：00

場所：講習室

対象：成人（概ね70代くらいまでの方）抽選16名

講師：KDDI スマホ・ケータイ安全教室事務局

※受付 1月4日（火）～1月7日（金）

ベイタウン新年恒例 年男年女撮影会

ベイタウンの歴史に君の姿を残そう。

チャンスは12年に1度。今回参加できるのは「寅」（トラ）年の人だけ。

日時：12月11日（土）10:00から ベイタウン・コアで受付後に撮影します。

場所：ベイタウン・コア（打瀬公民館）アトリウム集合

当日雨の場合はコアのアトリウム内で撮影します。

問い合わせ：ベイタウンニュース 松村（TEL：211-6853）



キュービックカフェ 12月・1月のイベント・ワークショップ



毎月第2土曜日はキュービックの日！『キュービックマルシェ』

<12月> 12/4（土）・12/11（土）2週に渡って開催！

<1月> 1/8（土）予定

コミュニティスペース絆にて。

※「例のパンや」さんも出店予定です。

検温・消毒・マスクの着用にご理解・ご協力ください。
イベント最新情報はキュービックカフェホームページをご確認ください。

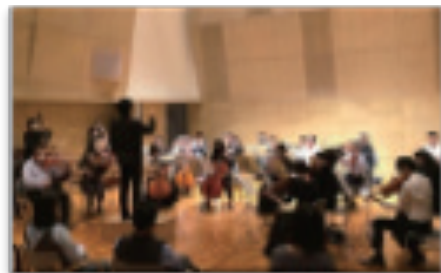


イベント詳細・お問い合わせ：キュービックカフェ

<https://www.cubic-cafe.com/>

●コアフェスタ・ミニ開催

10月30、31日にコアフェスタ・ミニ（公民館文化祭）が、コロナ禍での感染予防対策を徹底したうえで、9のサークルに打瀬中学校吹奏楽部を加えた10団体が参加して行われました。会場として利用したホールは、発表者と観覧者を合わせた人数制限を設定したため、知り合いにも声をかけられなかったということもあったようです。それでも市内の公民館で唯一の開催という状況下で、出来る範囲で工夫しながら実施するという姿勢・取り組みは、今後も続くであろうwithコロナの日々の在り方に一石を投じたのではないかと思います。熱い思いで計画、運営にあたっていたいただいたサークル連協の皆様に敬意を表します。



●避難所開設訓練

11月6日に避難所開設訓練が実施されました。ベイタウン避難所運営委員会の皆様が中心となり、5か所の避難所（打瀬中、打瀬小、海浜打瀬小、美浜打瀬小、公民館）ごとに災害備蓄品の確認と共に、マンホールトイレを実際に設置し、その手順を確認しました。

わくわくおはなし会

12月のおはなし会は完全入れ替え制の2回公演

日時：12月18日土曜日

時間：1回目：10時から 2回目：11時から

プログラムは各回同じ内容、1回45分程度の完全入れ替え制

場所：ベイタウン・コア講習室

定員：各回10名（感染防止の観点から十分な距離を取らせて頂きます。マスク着用でご参加ください）

ご好評につき2回公演としました。感染症対策として、予約・定員制となりますので、ご参加希望の方は下記メールアドレスにて、代表者のお名前・ご参加人数（お子様の場合は年齢も）・ご希望の時間を明記の上、お申込みください。年齢制限はありません。

皆さまに安心安全にご参加いただけるよう、細心の準備をして開催させていただきます。

※最新情報はブログでご確認ください

ブログ更新中・見てね＊ <http://blog.livedoor.jp/chibawaku/> ＊

◆お申込み・お問合せ先◆ waku2book@gmail.com

12月25日（土）寺子屋工作ランド

よく鳴る「でんでんだいこ」

日時：12月25日 第4土曜日 午前9：30～11：30

場所：ベイタウン・コア工芸室

今月はよく鳴る「でんでんだいこ」をつくります。

持ってくるもの：よく切れるはさみ、セロテープ、

ビニールテープ（ある人）

参加費：50円（保険料）

12月のベイタウンかふえ ～今年最後のかふえ～

12月8日（水）13：30～16：00（いつでも出入り自由）

地域連携センター（打瀬公民館：コアの横）で開いています。

12月も生のジャズピアノ演奏と温かいコーヒー、そして特別にハンドベル演奏を用意してお待ちしております。クリスマスのお話をともに楽しみましょう。また、先月に続き、補聴器・集音器のお話も予定しています。

問い合わせや、連絡等がありましたら、

うたせ認知症を考える会 中澤（TEL：211-0588）までどうぞ。